

を祝う

鶴田町成人式



160人の新成人が 新たな門出を迎えました

1月3日(木)、町国際交流会館において、県内で一番早い鶴田町の成人式が開催されました。今年、当町で成人を迎えたのは、男性75人、女性85人の計160人。そのうち、男性64人、女性66人の計130人が出席し、華やかな振り袖やスーツ姿で人生の新たな門出を同級生や恩師らと祝いました。会場では、懐かしい友人との再会を喜ぶ新成人が多く、「久しぶり、元氣だった?」という声がたくさん聞かれました。

式では、相川町長が、「ご成人おめでとうございます。人生の大きな節目を迎え、これから、社会人として色々な責任や一定の役割を果たすことを期待されることとなります。周りの人と協力しながら、かけがえのない仲間がいる鶴田町を忘れずにこれからを歩んで欲しい」とあいさつしました。

新成人を代表して渋谷 純すなおさんと下山 千尋さんが、「皆さんの心温まるお言葉ありがとうございます。成人として

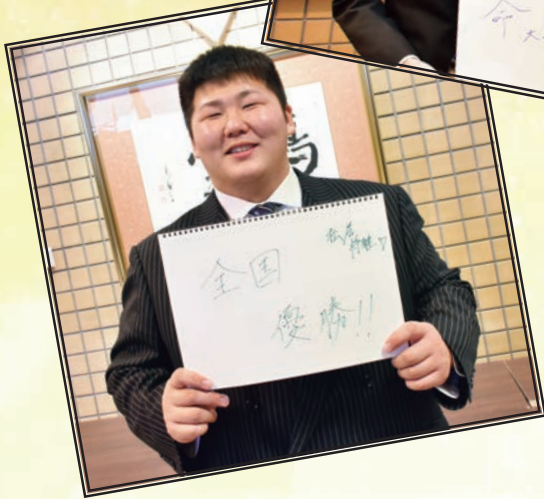
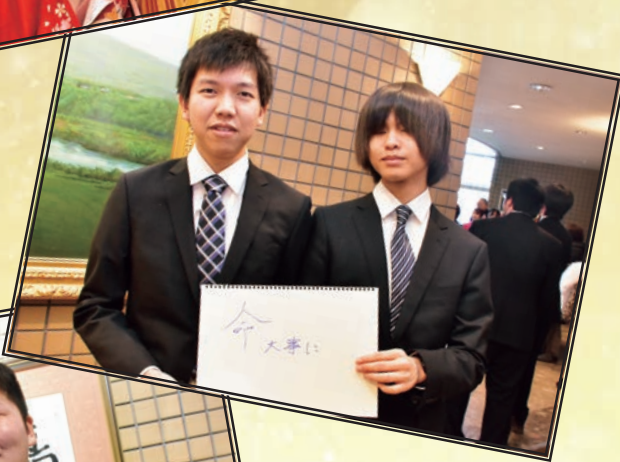


△「成人のつどい」で相川町長から電波置き時計が贈呈



△背筋を伸ばして緊張感を持って成人式に参加していました

一足早く門出を 平成30年度



△新たな門出を祝いリンゴジュースで乾杯する新成人

の責任の重さを自覚し、鶴田町を愛し、若者らしい情熱と行動力で諸先輩方の期待に応えられるように頑張ります」と、感謝の気持ちを伝えるとともに、成人としての自覚を再確認し、厳かに行われた成人式は終了しました。

成人式終了後は、第2部として新成人が実行委員を務めた「成人のつどい」が開催されました。成人のつどいでは、相川町長から記念品としてつるた焼きの陶器と電波置き時計の贈呈や、成人式に招待された恩師からの、思い出話も交えた祝福のメッセージのほか、成人によるアトラクションとして、小中学生時代の思い出出をスライドショーの上映で振り返っていました。成人のつどいは、厳かな成人式とは違い、会場は笑いと和やかな雰囲気になりました。

成人のつどいが終了すると、国際交流会館ロビーで成人のつどいで相川町長から頂いたつるた焼きに、新成人らが記念の言葉や成人を迎えた想いなどを書き込んでいました。



△久しぶりに集まった同級生たちと集合写真



△新成人を代表して謝辞を述べた渋谷純さんと下山千尋さん